

新日本空調グループは、2020年に10年ビジョン「SNK Vision 2030」を掲げ、持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向けた、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団となり、将来の見通しやさまざまな変化に対し柔軟かつ機敏に対応するとともに、慣習や既成概念にとらわれず新たなことに挑戦してまいります。

インプット

事業活動

財務資本

総資産 98,634百万円
自己資本 50,555百万円
自己資本比率 51.3%

製造資本

当社および子会社 9社(国内3社・海外拠点6社)
海外拠点数 9都市
技術開発研究所 1カ所
SNK e-Labo 3拠点

知的資本

特許件数 110件(2021年3月現在)
研究開発費 477百万円(2020年度実績)

人的資本

従業員数 1,598名
一名当たりの教育研修回数 1.16回
社内主要研修プログラム数 38種類
研究開発に従事する従業員数
・技術開発研究所 16名
・ファシリティソリューションセンター 4名
・ソリューション事業部 3名
・原子力事業部 2名
公的資格保有数 3.95資格/名
監理技術者 604名
一級管工事施工管理技士 612名
一級計装士 210名
IT関連資格 9名

社会関係資本

顧客数 1,346社
受注金額 103,254百万円
協力会社数 1,865社
発注金額 61,726百万円
SNK e-Labo見学者数 33名(2020年度実績)

自然資本

電気使用量 2,031MWh
ガソリン使用量 37万ℓ

(2021年3月末現在)



※「CSRマネジメント」についてはP.49-50をご覧ください

アウトプット

アウトカム

2022年度

収益力

受注工事高 1,230億円
 完成工事高 1,230億円
 営業利益 63億円
 親会社株主に帰属する当期純利益 45億円
 ROE 10.0%以上
 連結配当性向30%以上、またはDOE(株主資本配当率) 3%を下限として還元

ワークライフバランス&ダイバーシティ

- ・安全で健康な生活がおくれる労働環境を提供
- ・多種多様な能力が発揮でき、生き生きと働ける環境を提供
- ・自分の仕事が社会に貢献する喜びを実感できる場と、成長のための機会を提供

品質確保

- ・人に健康と快適な空間を提供
- ・工場での生産に最適な空気環境を提供
- ・協会社と一体となった活動を通して、ライフサイクルを通じた安全で品質の良い設備を提供

ナレッジマネジメントシステム

- ・ナレッジと最新技術(AIやIoT)の活用およびデジタル化による生産性向上

クリーンエネルギー

- ・電気使用量の73%を再生エネルギーに転換
- ・エコカーへの転換によりガソリン使用量を **50%削減**
- ・フラッシング水削減技術による水使用量の大幅な削減
- ・SCOPE1&2のCO₂排出量 **10%削減(2018年度比)**
- ・省CO₂提案を通じた改修工事推進

企業価値の向上

財務資本

●2030年度
 完成工事高 1,300億円~1,500億円
 営業利益率 10%以上
 ROE 10%以上

人的資本

多彩な能力の融合による人材価値の最大化

- ・ライフステージにあった多様な働き方を選びながら、キャリア形成できる環境
- ・自律的かつ多彩な人材が精彩を放つエンジニア集団

組織資本

情報利用の高度化と組織機動力の向上

- ・ナレッジの蓄積・拡大と、その利用の高度化
- ・情報アクセスの利便化による業務処理のスピードアップ

4つのあり姿

関係資本

お客様と共栄できる関係の創造

- ・社会課題解決を通じたオープンイノベーションの確立

サステナビリティ資本

ステークホルダーとともに社会課題解決へ貢献

- ・省CO₂提案を通じた改修工事推進
- ・レジリエンス対応技術の普及を通じた安心な社会への貢献

社会課題の解決

健康的な生活



安全性・生産性の高い産業



設備の長寿命化



気候変動問題への貢献

